

府中市福祉計画策定のための調査 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(第6期) アンケート調査計画

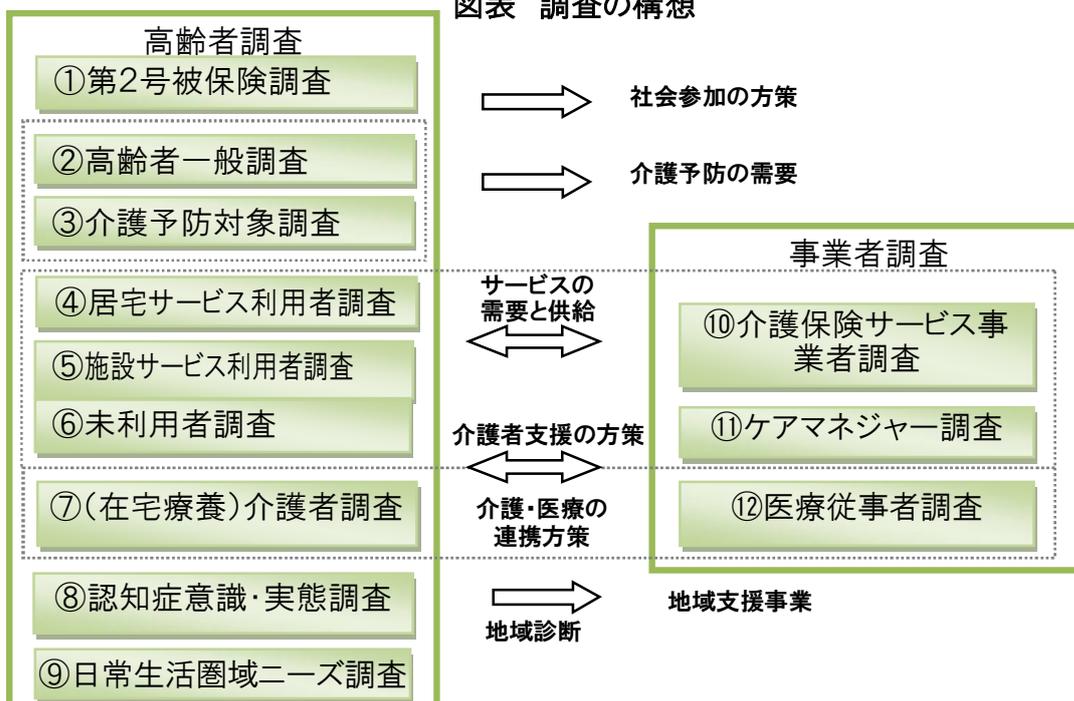
1 調査の目的

本調査は、高齢者福祉に関する意見や要望を把握することにより、府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）策定のための基礎資料を得ることを目的とします。

2 調査の構想

- 本調査は市民と事業者等への12種類のアンケート調査ならびに希望者（市民）によるグループインタビュー調査で構成します。（また別途、「地域包括支援センター」等へのグループインタビューも予定しています）
- 市民調査（高齢者一般・介護予防事業対象者）、介護保険サービス利用者・未利用者調査は従来通りの構成で行い、高齢準備期調査は対象年代を拡充し、第2号被保険者の調査とします。
- 居宅介護支援事業所調査と介護支援専門員（ケアマネジャー）調査の回答者が重複すると予想されることから、今回の事業者調査を、介護保険サービス提供事業者に絞って行うこととします。
- また、「医療と介護の連携」に関する介護者及び医療従事者調査は、今回も継続して実施します。
- さらに、今回は認知症のさらなる意識啓発や、認知症の早期支援のありかた等の参考とするために、「認知症に関する意識・実態調査」を実施します。

図表 調査の構想



3 調査種別

- 本調査では次の12種類のアンケートを行います。
- 高齢者調査は次の9種類を行います。

区分	調査名	対象者	サンプリング	調査方法
調査1	第2号被保険者調査	市内に居住する40～64歳市民 1,000人	住民基本台帳から無作為抽出	アンケート 調査（郵送 法）
調査2	高齢者一般調査	市内に居住する65歳以上市民 （要支援・要介護認定者を除く） 1,800人	住民基本台帳から無作為抽出	
調査3	介護予防に関する調査	介護予防の必要性が高い人 300人	心と体の健康チェックの結果により、 対象者から無作為抽出	
調査4	介護保険居宅サービス利用者調査	介護保険居宅サービス利用者 1,500人	65歳以上で、介護保険居宅サービスを受けている方から無作為抽出	
調査5	介護保険施設サービス利用者調査	介護保険施設サービス利用者 300人	65歳以上で、介護保険施設サービスを受けている方から無作為抽出	
調査6	介護保険サービス未利用者調査	介護保険サービス未利用者 500人	要支援・要介護認定者のうち、 介護保険サービスを利用していない方から無作為抽出	
調査7	医療と介護の連携調査	在宅療養高齢者の介護者 300人	医療措置を必要とする（主治医意見書で何らかの医療措置を受けている） 要支援・要介護認定者から無作為抽出	
調査8	認知症に関する意識・実態調査	市内に居住する40歳以上の市民 500人	住民基本台帳から無作為抽出	
調査9	高齢者日常生活圏域ニーズ調査	市内に居住する65歳以上市民 （要支援・要介護認定者を除く） 及び要支援1～要介護2までの 要介護認定者2,500人	住民基本台帳及び介護保険サービス利用者名簿より無作為抽出	

- 事業者調査は次の3種類を行います。

区分	調査名	対象者	サンプリング	調査方法
調査10	介護保険サービス事業者調査	府中市内の要支援・要介護認定者の防・居宅・施設サービス事業所 100箇所	悉皆調査	アンケート 調査（郵送法）
調査11	介護支援専門員調査	府中市民のケアプランを作成する 介護支援専門員 150人程度	悉皆調査	
調査12	医療と介護の連携調査（医療従事者調査）	市内の医療機関に従事する医療従事者	調査対象は、医療機関名簿より抽出 （事前に医師会・歯科医師会・薬剤師会に相談）	

4 集計・分析のイメージ

(1) 全体集計

調査ごとに、全体集計を出し、全体としての傾向を把握します。

(2) 基本属性での全問クロス集計

基本属性を集計軸とした全問クロス集計を行い、基本的な分析を行います。全問クロス集計は次の集計軸に基づき実施します。

- ◆ 市民調査等：性・年代別等
- ◆ 介護保険サービス利用者調査等：性・年代別、要介護度別等
- ◆ 日常生活圏域ニーズ調査：性・年代別、要介護認定の有無別、状態像別等
- ◆ サービス提供事業者調査：実施事業、事業規模別等

(3) 地域別での分析

福祉6エリア別にクロス集計を行い、地域別分析を行います。これにより、地域ごとの傾向、福祉の課題を把握します。

〔調査項目例〕

- ・近所づきあいの程度
- ・地域包括支援センターの認知度
- ・災害時要援護者支援名簿の登載意向
- ・これからの充実を望む施策

(4) 時系列での分析

各調査項目で、前回調査で実施している質問については、前回との比較を行います。

(5) 調査間の共通質問の横断的分析

市民、高齢者、障害のある人の調査間の共通質問について、横断的比較して分析する項目を設定します。一般市民や障害者との考え方の違いなどを把握します。

〔調査項目〕

- ・近所づきあいの現状、地域活動・ボランティア活動の参加程度
- ・協働に関する設問（災害時をテーマとする）
（不安や心配ごと、不安を感じるごと、協働で進めること、手助けが必要な方に自分ができること）

(6) 自由回答の整理

アンケート調査は定量的な手法ですが、数量的な分析だけでは把握しきれない対象者の自由意見について、項目を分類、整理し、分析を行います。